



早坂あつしの重点政策

1 教育・給食費
無償化の制度設計

家庭の経済状況にかかわらず、等しく質の高い教育を受けることができるよう、義務教育の他、児童教育から高校、専門学校、大学等教育の全過程について完全無償化を憲法上の原則と定め、給食の無償化、大学改革と併せて進めながらの関連法の立法と恒久的な予算措置を義務付けます。また、習事助成制度の導入・普及に努め、教育機会の拡大とともに、教育の質と学力向上を目指します。

日本維新の会
ホームページ2 子育て支援の充実、
障がい児支援

認可保育所の設置基準や運営補助金について、柔軟性を欠く全国一律の基準を改め、原則として条例で決められるようにする等、保育政策の地方分権化を徹底し、地域の実情に応じた保育サービスを可能にします。また、所得税法を改正し、学資金だけでなく保育にかかる費用について原則非課税とし、地方自治体からの子育て費用の助成を促進し、直接給付を重視する方針への転換を図ります。障がい児に対しては、子ども達の資質や能力を伸ばし、生涯にわたる生きる力を培うための環境整備を進めます。

3 震災からの復興
~誰も取り残さない~

「復興の総仕上げ」と言われていますが、本当にそうでしょうか。町並みは一変し、生活も落ち込んできた方も多くいらっしゃいません。しかし、震災で負った心の傷はそう簡単に癒すことはできません。孤立や孤独に苦しむ方もたくさんいらっしゃいます。更なるハート面の充実に加え「心のケア」の対策に全力で取り組みます。復興から「誰も取り残さない」。

早坂あつしプロフィール

●元宮城維新の会代表 ●1971年3月11日生(54歳)
●妻、長男、長女、四人家族 ●東北高等学校卒業
●児童指導員
●元衆議院議員
●元文部科学委員会委員
●東日本大震災復興特別委員会理事

早坂あつしSNS発信中



Instagram

比例は「日本維新の会」とお書き下さい

日本維新の会「日本再起」
政策実現政党
公認

早坂あつし

衆議院宮城県第2選挙区
日本維新の会
公認

25歳、一児の母。



私は夢があります。『すべての人々が、自分の生きたい生き方で、誇りをもって歩んでいける社会』を実現するという夢です。そのためには、日本国の大豊かさ、国力が必要です。

私はこの豊かさの実現にとって最も障壁となるのが少子化だと考えています。子どもが減れば内需を中心の我が国の経済が停滞する。経済の停滞により現役世代の手取りが伸び悩む。そうすると介護・福祉を支える人材と費用が不足する。

出生数が70万人を割った今、もう時間はない。子どもが増える、経済が成長する、手取りが増える、福祉が充実する。この方向に、地元仙台を、日本を変えていきます。

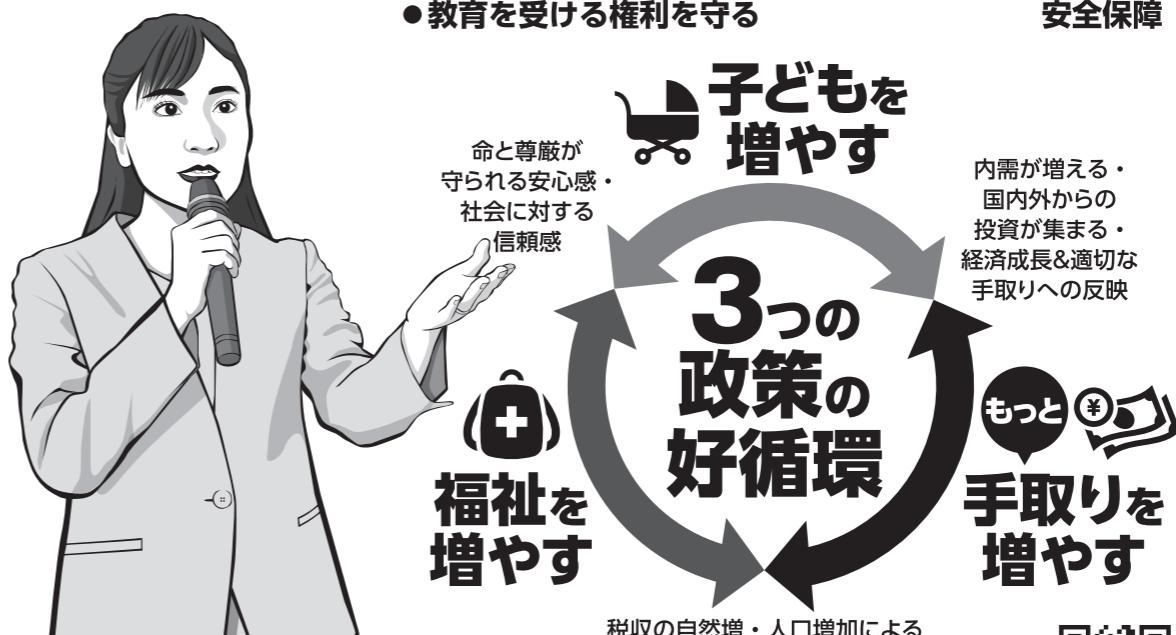
子どもを増やす 福祉を増やす 手取りを増やす

子どもを増やす 福祉を増やす 手取りを増やす

●子育てにかかる費用を抑える
●子育てを楽しむことができる環境を整える

●介護の質を向上させる
●市民・国民の命を守りぬく
●教育を受ける権利を守る

●手取りを底上げする
●産業を育て、地元を守る
●経済格差を小さくする
●家計応援 × エネルギー
安全保障



公式HP

PROFILE

2000年12月28日生まれ

早稲田大学文学部(心理学コース)を卒業と同時に結婚、23歳で息子(1歳9ヶ月)を出産。現在子育てに奮闘中!

学歴 多賀城市立山王小学校、多賀城市立第二中学校
宮城県仙台第二高等学校(英語部長、文化祭実行委員会幹部)、早稲田大学文学部(心理学コース)

趣味 息子や愛犬と遊びこと・史跡めぐり 仙台の好きな場所 仙台港中央公園・泉中央駅前・国分寺薬師堂

座右の銘 「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」

国は歴史や人の人生は、河の流れのようだ。ずっと同じ川があるように見えて、二度と同じ瞬間は訪れない。だから私は仙台、そして日本に生きる人々の、その瞬間、瞬間に輝かせたい。

佐藤
勝りりか
国民党

現場主義×アフォーダブル×国家基盤

世界はすでに「平時」ではありません。安全保障、経済、エネルギー、食料、災害対応これらはすべて、国家主権と国民生活に直結する課題です。

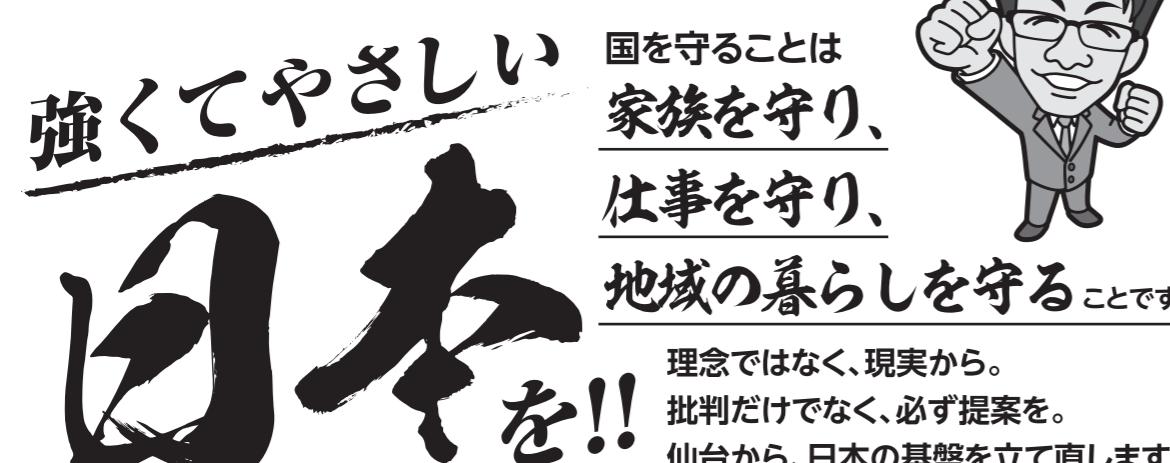
私は、県議会議員として3期10年、現場で政策をつくり、実行してきました。

1 現場で本当に機能するか。

2 暮らしはアフォーダブル(無理なく暮らせる)か。

3 国家の基盤を守っているか。

この3つを基準に、国の政治に責任を持って取り組みます。



行政改革・財政改革で、暮らしに還元

物流・交通を国家基盤として立て直す

●行政の無駄・非効率を見直す
●デジタル化で国民の時間と負担を減らす

●仙台を東北物流の中枢として強化
●「止まらない物流」を支える持続可能な体制づくり

安全保障と危機管理を現実主義で

防災庁を創設し、仙台へ設置・誘致

●抑止力としての防衛力強化
●国家の危機管理を「平時から動く体制」に

●物価高騰から家計に事業を守る
●エネルギー・食料・物流コストの抑制

支え合いの仕組みで「やさしい日本」をつくる

日本のかたちを守り、未来へつなぐ

●子育て、介護、障害、ひとり親など、
●ライフステージごとの不安に切れ目なく対応

●憲法改正を実現し、
●災害対応の司令塔を国家機能として整備
●東日本大震災の経験を全国の安全に活かす

●働きながら、学び直しや治療、介護と両立できる制度づくり

●共に生きるやさしい「和の日本」を

渡辺勝幸

自民党衆議院宮城2区支部長 宮城県議会議員(3期)

宮城県立幼稚園PTA連合会 会長 / 宮城県障害者スポーツ協会 常任理事

平成 6年 宮城県仙台第一高等学校卒業(高46回、2年間応援団長を務める)

平成12年 参議院議員市川一朗(宮城県選挙区)政策担当秘書(平成22年まで)

平成13年 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了

平成26年 仙台市立沖野東小学校PTA会長・平成21年 同沖野中学校PTA会長

平成26年 東北大大学院情報科学研究科非常勤講師(令和6年まで)

平成27年 宮城県議会議員初当選(3期連続当選)

平成30年 自民党宮城県連青年局長

令和 7年 自民党衆議院宮城2区(宮城野・若林・泉)支部長

渡辺勝幸ウェブサイト



渡辺勝幸

衆議院宮城県
第2選挙区候補者
自民党公認

ひとりひとりが日本

I am JAPAN

“3つの柱と9の政策”

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しめ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする

の柱 ~経済・産業・移民~

1 “集めて配る”より、まず減税

減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う“NO! 移民国家”

労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受け入れと外国人の土地の取得を制限します。

3 現場の人々が支える日本

製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

4 食は人の天なり

食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が生命線

諸外国も見直しを進める脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定してエネルギーを国内で確保します。

6 安心医療で健康国家

過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えています。

2 日本人を守り抜く

の柱 ~食と健康・一次産業・エネルギー~

7 子ども一人につき月10万円

0~15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8 受験戦争からの解放

偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正しく評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 日本はみんなの家

日本の国力が衰える中、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

3 日本人を育む

の柱

~教育・人づくり・国家観~

7 子ども一人につき月10万円

8 受験戦争からの解放

9 日本はみんなの家

和田政宗

プロフィール

参政党公認会長

和田政宗



生活者ファースト

円安・物価高・家計の負担を直視して 今こそ、食料品の消費税ゼロを!!

中小企業を守る!

社会保険料の負担は重すぎます。企業・働く人を守るため軽減を勝ち取ります。

大学授業料無償化

日本は教育費を家計に依存し過ぎです。大学入学のための奨学金は貸与型から給付型へ。

命の安全保障「医療」を守る!

- ▶ 医師の地域偏在を解消へ
- ▶ 経営困難な医療機関には速やかに支援を!!
- ▶ 高額療養費の自己負担限度額引上げを断固阻止へ
- ▶ 看護師さん待遇改善を大至急

保育・介護従事を守る!

保育・介護人材は、日本社会に欠かせません。安心して地域で働き続けられるよう「家賃補助」を全国一律で!

食・農を守る!

戸別所得補償制度を復活し持続可能な「農」を国が責任をもつ。

非正規雇用増大ストップ

若者が安心して働き続けられるニッポンを!!

ガソリン税の二重課税の見直しに着手を!!

消費税が二重課税されているのは、おかしな税制です。

プロフィール	宮城県仙台市生まれ
	1983年 宮城学院高等学校卒業
	1987年 東北学院大学 経済学部経済学科卒業
	1995年 仙台市議会議員
	2000年 衆議院議員(1期)
	2003年 衆議院議員(2期)
	2015年 宮城県議会議員
経歴	2021年 衆議院議員(3期)
	2024年 衆議院議員(4期) 法務委員会理事 立憲民主党ネクスト復興・福島再生大臣 東日本大震災復興本部事務局長代理

鎌田さゆり

検索



中道改革連合

鎌田さゆり



2月8日(日)は、
衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査の
投票日です。

- ◎投票日当日、投票ができないときは、期日前投票または不在者投票をしましょう。(2月7日(土)まで)
- ◎投票所の入場券が届いていない場合やなくしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。

衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査については、
宮城県選挙管理委員会ホームページをご覧ください。

宮城県選挙管理委員会

検索

宮城県選挙管理委員会 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県庁内